

新除草・調節剤

アファロン LINURON W.P

アファロン普及会
事務局 ヘキスト・ジャパン株式会社
(取扱メーカー) クミアイ化学工業株式会社
日産化学工業株式会社
日本農薬株式会社
三共株式会社
サンケイ化学株式会社
北興化学工業株式会社

対象作物：ショウガ、人参、馬鈴薯等

性状・作用特性：本剤は、N-(3,4-ジクロルフェニル)N'-メトキシ-N'-メチル尿素50%を含む水和剤である。

本剤は、発芽時の雑草種子および発芽間もない雑草に対して、葉や根毛から植物体に吸収され、光合成の阻害によって殺草効果をあらわす1年生の広葉、禾本科雑草対象の土壌処理型除草剤である。

セリ科作物に特殊な生理的抵抗力をもっているため、人参のようなセリ科作物に対し生育期処理が可能である。残効性は非常に長く、通常30～60日とされ、土壌中での移行型は中程度である。

人畜毒性は急性経口毒性LD50=4,000mg/Kg(白ネズミ)、慢性毒性1,000～2,500PPmの量を飼料に加え、90日間にわたって与えた結果は中毒症状なしと、毒性は極めて少ない。

使用方法：ショウガ萌芽前に10アール当り製品量100～200gを70～100ℓ前後の水にうすめて均一に土壌処理する。

もし、処理前に土壌が乾き過ぎのときは、処理前に水を散布して土を湿らせておくことと効果的である。

なお、人参の生育期処理は、本葉2～3葉期以降に処理すること。砂質で、水はけのひどい畑や、雨が多量に降り続く時期には、薬害をおこすおそれがあるので、使用をさけること。

編集後記

稔りの秋も過ぎ、木がらしが吹きすさぶようになると、誰でも外出がおっくうになる。

雑草も、首をすくめて、越冬の準備をしているに違いない。除草剤を散布しなくても、雑草は枯れはてるので、雑草防除の必要もおこらない。近頃では、残効期間の長い除草剤が開発され、実用化されているので、農家での雑草防除作業は一段と簡略になってしまった。

普及員諸氏には、農家の方より雑草防除について質問を受けることがだんだん減ってきているものと思うが、当誌を大いに活用し、これか

らも、農家のよき相談相手になっていただきたい。

財団法人 日本植物調節剤研究協会

東京都港区芝西久保桜川町26番地

電話 東京(03)502-4188～9番

昭和44年11月発行

植調第3巻第8号 ¥70(送料35)

編集人 日本植物調節剤研究協会会長 河田 党

発行人 植調編集印刷事務所 田口 宏

東京都豊島区池袋本町4丁目49番3号

発行所 植調編集印刷事務所

電話 (986) 1068番